

(広報資料)

平成27年3月31日

総合企画局

〔市民協働政策推進室〕

プロジェクト推進第一担当

TEL 222-3176

～「多彩な地域資源をつなげ、京都の新しい賑わいを創出するまち」を目指して～
「京都駅西部エリア活性化将来構想」の策定について

京都駅西部エリアは、京都水族館や京都鉄道博物館など、集客施設の整備が進む梅小路公園をはじめ、京都市中央市場や京都リサーチパーク、商店街、文化・観光施設、寺社、大学といった多彩な地域資源が集積するエリアです。

京都市では、本エリアの活性化に向けた将来構想を策定するため、「京都市下京区西部エリア活性化将来構想策定委員会」（以下「策定委員会」という。）へ諮問し、目指すべき将来像やその実現方策等について検討を進めてきました。

この度、策定委員会からの答申や市民意見募集の結果を踏まえ、「京都駅西部エリア活性化将来構想」を策定しましたので、お知らせします。

1 将来構想の概要

(1) 構想策定の背景と目的

多彩な地域資源が集積している京都駅西部エリアにおいて、大きく高まっている活性化の機運を確実にするために、将来ビジョンと概ね今後10年間で取り組むべき方策を明らかにし、京都駅の東部エリア等、周辺地域の活性化の動きと一体となって、20年後、30年後、更には平安建都1300年に向けて、京都全体の大きな飛躍につなげていきます。

(2) 構想の期間

- ・ 将来ビジョン：長期的な見地に立ち設定
- ・ 取り組むべき具体方策：概ね今後10年間（平成27～36年度）

特に、平成32年に東京五輪が開催され、海外からの来訪者もより一層増加すると見込まれることを見据えて、前半5年間（平成27～31年度）に強力に取組を推進します。

(3) 構想の全体像

「多彩な地域資源をつなげ、京都の新しい賑わいを創出するまち」を京都駅西部エリアの将来ビジョンとし、この将来ビジョンを「居住」「業務」「集客」の視点からより具体化したものとして、3つの「活性化イメージ」を掲げました。

また、将来ビジョンの実現に向けて取り組むべき事項を、本エリアの活性化の推進の基盤となる「2つの仕組み」と、重要な役割を担う地域資源に着目した「8つの方策」として取りまとめました。

構想の全体像

将来
ビジョン

将来ビジョン
**多彩な地域資源をつなげ、
京都の新しい賑わいを創出するまち**

活性化
イメージ

活性化
イメージ
1

**全ての居住者が
安心して暮らし、
文化を楽しむまち**

- 緑や歴史・文化資源に触れ合える豊かなまちなか居住が進む。
- 空き家の活用等により、地域のまちづくり活動が活発になり、地域コミュニティが活性化される。

活性化
イメージ
2

**新しい
ビジネス・活気を
生み出すまち**

- 京都市中央市場直送の強みをいかし、食による賑わいが創出される。
- 地域に密着した商店街が活性化される。
- KRPを核とした新事業の創出が進む。
- 京都駅周辺への商業・業務機能の更なる集積（都市機能の集積）が進む。

活性化
イメージ
3

**幅広い世代の
人々が多く集まり、
楽しめるまち**

- 京都鉄道博物館が開業（平成28年春）し、鉄道ファンをはじめ、各地から幅広い層の人々が訪れる。
- 京都市中央市場整備に伴う「賑わいゾーン」等の活用や、歴史・文化資源を訪れる層の拡大により、更なる賑わいが創出される。
- 梅小路公園が賑わいの一大拠点となる。

2つの
仕組み

仕組み
1

人と公共交通優先の「歩くまち・京都」を実現する交通戦略

- 取組① 七条通付近におけるJR新駅の設置をはじめとした本エリアへのアクセスの向上（大きな回遊）
 取組② エリア内の回遊性の向上（小さな回遊）

**「JR新駅」
平成31年春
開業予定**

仕組み
2

京都ならではの地域力・市民力をいかした「まちづくりの仕組み」の構築

- 取組③ 多様な地域主体の連携によるまちづくり

8つの
方策

方策
1

**緑やうるおいを感じられる
まちなか居住の推進**

方策
2

梅小路公園の拠点機能の強化

方策
3

京都・日本の食文化の牽引

方策
4

地域に密着した商店街の活性化

方策
5

**KRPを核とした
新事業・ソーシャルビジネスの創出**

方策
6

鉄道の聖地としての飛躍

方策
7

**新たな地域資源の創出と
歴史・文化資源の継承**

方策
8

**低・未利用地（公有地・民有地問わず）の
戦略的活用促進**

2 将来構想の周知方法

京都市情報館（<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000180451.html>）で公開するほか、平成27年4月上旬頃から、市役所、各区役所・支所等で、周知用の冊子を配布します。

（参考）将来構想策定の経過

平成26年	6月10日	第1回策定委員会	〔 京都市から策定委員会へ諮問 本エリアの現状認識及び課題，将来像について，意見交換を実施 〕
	8月1日	第2回策定委員会	
			〔 本エリアの現状，ポテンシャル・課題を分析した結果を報告し，今後の方向性について，意見交換を実施 併せて，現地視察会を開催 〕
	9月12日	第3回策定委員会	
			（「京都駅西部エリア活性化将来構想 素案」について審議）
	12月19日	第4回策定委員会	（「京都駅西部エリア活性化将来構想（案）」について審議）
平成27年	2月10日	「京都駅西部エリア活性化将来構想（案）」	に関する市民意見募集
	～3月11日		
	3月17日	第5回策定委員会	〔 市民意見募集の結果を報告し，「京都駅西部エリア活性化 将来構想 答申」について審議 〕
	3月25日	策定委員会から京都市へ答申	